

新人教育マニュアル チェックリスト(小売・サービス業向け)

新人教育が「属人化」から「標準化」に移行しているかを確認するためのチェックリストです。

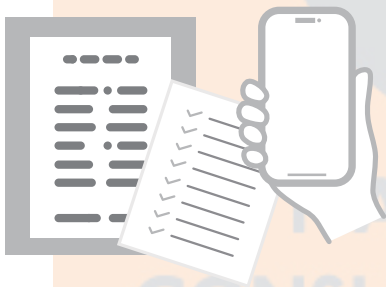
5つの観点・30項目で新人教育の現状を可視化できます。

【A. 教育内容の整理状況】

1. 新人が入社初日に理解すべき項目が明確である
2. 1週間以内に習得すべき業務が整理されている
3. 「覚える順番」が定義されている
4. 店舗ごとに教育内容の差がない
5. 業務全体の流れが図式化されている

【B. マニュアルの整備状況】

6. マニュアルの保管場所が統一されている
7. スマホでいつでも閲覧できる
8. 動画とテキストが併用されている
9. 写真・テロップが適切に使われている
10. 外国人スタッフにも理解できる形式になっている



【C. OJT の運用状況】

11. 説明内容が担当者ごとにブレていない
12. 忙しい時間帯に教育が中断しない仕組みがある
13. 同じ説明を繰り返す手間が減っている
14. 新人が自分のタイミングで復習できる
15. 誰が教えても同じレベルの教育ができる

【D. 新人側の理解状況】

16. 新人が不安なく働けている
17. 「何から覚えるべきか」がすぐ分かる
18. 業務の全体像が理解できている
19. 質問しづらさを感じていない
20. ミスが減っている

【E. 教育結果・効果】

21. 習得スピードが明確に上がっている
22. 店長・先輩スタッフの教育負担が減っている
23. 全店で教育品質が統一されている
24. 本部施策が現場に正しく浸透している
25. 新人の定着率が改善している
26. 外国人スタッフが早期戦力化できている
27. オペレーションミスの減少を実感している
28. 既存スタッフの再教育が効率化している
29. 業務品質が全体的に向上している
30. これらの効果を月次で確認できている

総合評価(内部用)

- ☐が25～30:教育が標準化されている
- ☐が15～24:改善余地が多い
- ☐が0～14:教育が属人的になっている可能性大